

I 管内の概要

1 自然環境

千葉県長生地域は、千葉県の中央部で九十九里浜の南端に位置し、東を太平洋、西を市原市、南をいすみ市と夷隅郡、北を山武郡に接しています。首都圏の60 km圏内にあり、面積は326.89 km²となっています。

おおむね地域の東部は九十九里平野、西部は丘陵地帯となっており、標高0～60mのなだらかな地形の間を一宮川と南白亀川が流下しています。農地は、九十九里平野から川沿いや山間谷津に広がっています。

気象の平年値は、茂原市において平均気温15.7℃、降水量は1,683.6mmと、温暖な気候に恵まれた地域です。

2 社会経済環境

当地域は、茂原市並びに長生郡一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町及び長南町の1市5町1村からなり、常住人口は令和4年4月1日現在141,725人で、県人口の2.26%を占めています。

交通面では、平成25年4月に首都圏中央連絡自動車道の当地域区間が開通し、東京湾アクアライン、東関東自動車道館山線などとの接続、令和2年には茂原・長南ICと茂原北IC間に「茂原・長柄スマートインターチェンジ」が開通するなど、京浜地域等の一大消費地と直結し、輸送に掛かる時間が大幅に短縮されて、地域農産物供給の利便性が一段と向上しました。

また、当地域は、農林業、商業、工業がバランス良く発展し、海岸地域は海水浴客やテニス客を対象としたホテル・民宿などの観光業、中間部は商工業を中心とした地域であり、山間地はゴルフ場、体育施設など、地域性を活かした開発が進められています。

さらに、当地域では令和3年に東京オリンピックのサーフィン競技が開催されましたが、その後も「サーファーの聖地」として地域挙げての取組みが見られています。

一方、古くから培われてきた文化財も多々あり、東身延と呼ばれる「藻原寺」、坂東三十一番札所である「笠森観音堂」、上総国一ノ宮の格式を持つ「玉前神社」など、今もなお、その伝統を伝えています。

さらに、全国名水百選に選ばれた「熊野の清水」もあって、自然環境に恵まれた地域でもあります。

3 農業の概況

管内の耕地面積は9,094haで、そのうち水田6,434ha(70.7%)、畑2,653ha(29.2%)です。1農業経営体当たり耕地面積3.35haとなっています。なお、1農業経営体当たりの経営面積は2.26haで県平均を若干下回っています。

総農家数は4,122戸で、そのうち販売農家2,654戸、自給的農家1,468戸となっています。

社会情勢の変化に伴って兼業化や混住化が進展し、不耕作地の増加や農業従事者に占める65歳以上の割合の増加など、農業・農村環境が変化し、集落機能の維持が難しくなっ

きています。そうした中で、ここ数年、園芸部門に新規就農者が伸びてきました。

農産物販売金額規模別農業経営体数は、令和2年では、500万円以上の経営体が355経営体で、全体の13.1%を占め、そのうち、1000万円以上の経営体は187経営体となっています。海岸地域（一宮町、長生村、白子町）では、温暖な気候を活かした施設園芸が古くから盛んで、水稲と組み合わせた経営類型、中間地域（茂原市）ではねぎ等露地野菜と植木や水稲等を組み合わせた類型、山間地域（睦沢町、長柄町、長南町）では水稲＋酪農などの類型が中心となっています。

4 農業用水の状況

(1) 河川等取水

管内における主要河川は一宮川及び南白亀川であり、自然取水・揚水機、地下水により150ヶ所（一宮川100ヶ所、南白亀川37ヶ所、その他13ヶ所）の取水施設があり、そのかんがい面積は、3,489haに及んでいます。

(2) ため池

江戸時代から稲作の用水確保のため、農家によって築造されたもので、その数は247ヶ所あり、貯水量は3,077千 m^3 、受益面積は3,942.9haとなっています。

市町村別ため池状況（令和2年3月「農業用ため池データベース」）			
市町村	受益面積(ha)	総貯水量(千 m^3)	箇所数
茂原市	926.9	659.7	78
一宮町	1,297.6	1,203.0	22
睦沢町	800.1	654.5	38
長生村	320.8	115.6	4
長柄町	275.2	120.6	39
長南町	322.3	323.9	66
計	3,942.9	3,077.3	247

(3) 両総用水

九十九里地域の用水不足解消のため、昭和18年度から40年度にかけて、香取市岩崎地先から一宮川に至る延長69.4kmの幹線水路が設置され、香取市他6市6町1村で活用されています。

かんがい面積は17,546ha、取水量は最大毎秒14.47 m^3 、管内受益は4,893haで、長生管内で最大の水源となっています。

管内受益面積（単位；ha）			
市町村	水田	畑	計
茂原市	1,462	710	2,172
一宮町	79	55	134
長生村	858	372	1,230
白子町	860	497	1,357
計	3,259	1,634	4,893

(R4.8月現在)

5 基盤整備の状況

土地基盤整備は水田で4,009ha（整備率67%）、畑で1,408ha（整備率74%）が完了しており、県の平均水田整備率54%、畑の整備率34%と比較すると、水田、畑とも上回っています。

なお、1ha以上の大区画整備が白子町で18ha完了しています。

水田の整備状況

（単位：a）

区 分	茂原市	一宮町	睦沢町	長柄町	長南町	白子町	長生村	合計
全体面積	247,400	45,480	70,780	71,980	121,510	87,700	97,100	741,950
うち、農振農地面積	197,520	36,060	59,230	50,380	85,560	82,700	84,900	596,350
整備済み面積	120,400	21,200	38,400	23,200	49,100	68,800	79,800	400,900
うち、1ha程度以上の整備済み面積	0	0	0	0	0	1,800	0	1,800
未整備面積	77,120	14,860	20,830	27,180	36,460	13,900	5,100	195,450
整備率（%）	61	59	65	46	57	83	94	67

畑の整備状況

（単位：a）

区 分	茂原市	一宮町	睦沢町	長柄町	長南町	白子町	長生村	合計
全体面積	131,400	22,810	19,830	41,800	30,990	58,400	47,900	353,130
うち、農振農地面積	77,530	15,210	5,750	16,450	6,790	36,500	32,000	190,230
整備済み面積	55,300	7,900	4,000	0	5,100	36,500	32,000	140,800
未整備面積	22,230	7,310	1,750	16,450	1,690	0	0	50,370
整備率（%）	71	52	70	0	75	100	100	74

（注）① 水田の整備率

水田を対象に標準区画30aで整備され、かつ、稲作以外の作物を取り入れた複合経営が成り立つよう必要な土地基盤の条件整備（排水路整備、暗渠排水整備等）を行った水田面積の合計が農振農用地全体面積に占める率。

② 畑の整備率

畑地等を対象に、ほ場整備により10a以上に整備された合計が農振農用地全体面積に占める率。

6 市町村別主要農業構造指標

市町村名	農家率 (%)	農家数 (戸)	内訳比率		農業経営体 (経営体)	農業経営体3ha以上 (経営体)	農業販売額3千万円以上 (経営体)	耕地面積 (ha)	水田面積 (ha)	耕地戸当たり面積 (a)	農業産出額 (推計) (令和2年) (千万円)	内 訳			農業産出額県内順位	基幹的農業従事者数 (人)	基幹的65歳以上農業従事者数 (人)
			販売農家 (%)	自給的農家 (%)								米 (千万円)	園芸 (千万円)	畜産 (千万円)			
茂原市	3.6	1,350	68.7	31.3	944	99	11	3,080	2,110	228	395	213	111	41	28	955	780
一宮町	7.7	381	68.5	31.5	266	18	5	585	388	154	128	34	80	9	43	384	257
睦沢町	13.3	327	54.7	45.3	185	25	5	796	617	243	73	50	5	13	50	182	146
長生村	8.6	480	58.5	41.5	289	58	4	1,240	842	258	124	71	29	15	44	326	258
白子町	12.2	504	75.4	24.6	388	90	21	1,290	869	256	221	78	113	12	37	462	339
長柄町	19.3	482	54.1	45.9	269	17	1	863	568	179	74	47	16	6	49	251	207
長南町	22.7	598	60.9	39.1	375	33	5	1,240	1,040	207	117	82	15	18	45	344	283
計	6.9	4,122	64.4	35.6	2,716	340	52	9,094	6,434	221	1,132	575	369	114	10	2,904	2,270

(「2020年農林業センサス」「作物統計-令和3年」「生産農業所得統計-令和元年-」)